

LifeWear = Sustainability?

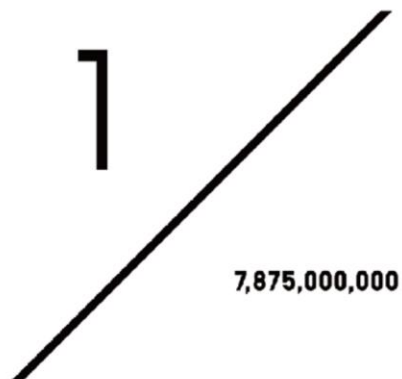
株式会社ファーストリテイリング
取締役 グループ上席執行役員

柳井 康治

皆さま、本日はお忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。
オンラインでも、多くの地域からご参加いただき、本当にありがとうございます。
会場に入ってお分かりいただけるように、本日は壇上から喋る
いつもの説明会スタイルとは少し違う形で、進めて行けたらと思います。

みんなが同じ目線で考えられる場

この会場のコンセプトは、「みんなが同じ目線で考えられる場」です。



なぜこのようなスタイルにしたかと言いますと、今日お話しする環境やサステナブル、そして人権や多様な価値観についてのお話は、この地球上に住む78億人、誰にも等しく関係のある話だからです。いま皆さまが座っている椅子にも、見ていただくと「78億分の1」という記号が書いてあります。つまり皆さま、お一人おひとりが本日の主役でもあるわけです。もちろん、オンラインで参加されている皆さまも同じです。



さて、今回のコロナ禍によって、世界はあらゆる面につながっていることを痛感しました。
一国だけが豊かな暮らしや経済を謳歌することはできないことも、同時に明らかになったと思います。

また、私たちの社会や生活を脅かす地球的・人道的な課題も増えてきました。
気候変動を起こすCO2の排出や、海洋汚染、人権や多様な価値観を危うくする労働環境。
そして貧困や格差の問題。さまざまな問題が一気に顕在化してきていると思います。



このような世界において、私たちファーストリテイリングは衣食住の「衣」を担うブランドであり、かつ日本発で、世界中で事業活動を行っているグローバル企業です。

ファーストリテイリングは「衣」を扱う服屋ですが、服を作って売って終わりではなく、世界中で今起きている問題や課題を事業活動を通じて解決することにも取り組んでいる企業でもあります。

LifeWear

私たちは「LifeWear」という考え方で、あらゆる人の生活を豊かにし、あらゆる人の長い人生に寄り添い、そして、あらゆる命を大切にすることを事業活動を行ってきました。

ループで流しておりました映像でご覧いただきましたように、この20年間の「サステナビリティ活動」は、「服を変え、常識を変え、世界を変えていく」という企業理念のもと、「よい服をつくり、よい服を売ることによって、世界をよりよい方向へ変えていくことができる」と信じて行ってきたことばかりです。

では、「よい服」とは一体どういう服でしょうか？

「長持ちする、品質の高い服」をよい服と感じる方もいれば、「適正な価格の服」がよい服だという方もいる。また「素材や加工で地球に負荷をかけない服」、「労働者の人権が守られている服」をよい服だと感じる方もいると思います。その定義は、おそらく人の数だけ存在するはずです。そして私たちは、そのすべてにお応えすることが、LifeWearの使命だと考えています。

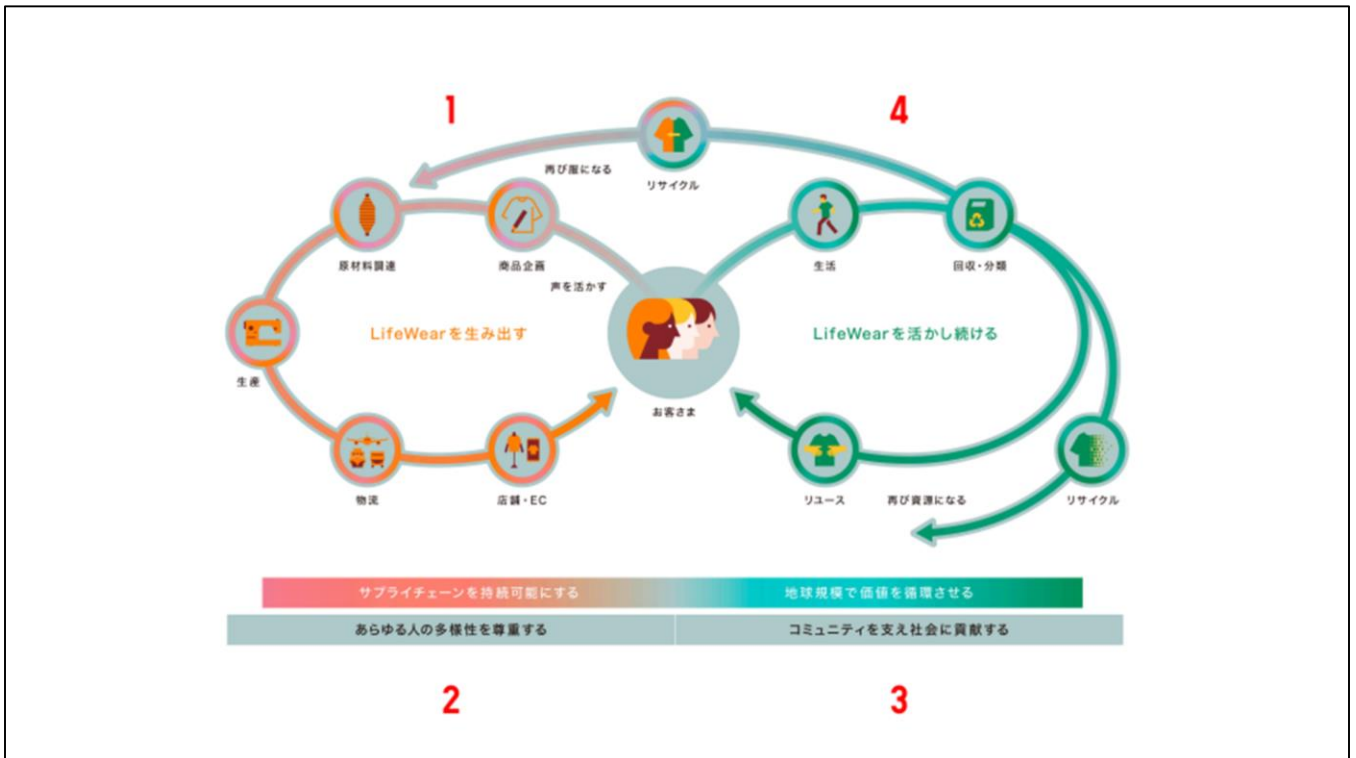
LifeWear = 「新しい産業」

「新しい産業」であると私たちは考えています。
Sports Wearが新しい産業として、新しいマーケットや新しい雇用を
創出したようにLifeWearもまた、新しい産業として今までにない
ファッションのあり方を世の中に提示し、持続可能な社会に貢献していく。

衣食住における、「衣」の産業革命ぐらいに、私たちは捉えています。

「衣」の分野で唯一存在するグローバルな生活・社会インフラ企業だからこそ、
今から未来に向けてやらねばならないこと、できることがあります。

「LifeWear」がお客様の手元に届けば届くほど、世界中の生活や
社会がより豊かになる、そんな事業活動をめざします。



これは、我々の事業モデル全体を表した図です。私たちは、まず第一にお客様が中心と考えています。
 左側の図は、「LifeWearを生み出す」。
 生産から販売までの自社サプライチェーンを示しています。
 右側の図は、「LifeWearを活かし続ける」。
 お客様に長くご愛用いただける服を作ることが前提ですが、ご愛用いただいた後、それらが回収され、循環経済の中でどのような道を進むのかについて記載しています。

個別に説明しますと、左上の1番は「サプライチェーンを持続可能にする」。
 お客様のニーズに基づき商品を開発し、トレーサビリティを担保した原料調達、地球環境へ余計な負荷をかけない最善の方法での生産・物流を経て、お客様にお届けすることを示しています。店舗でも、資材削減や温室効果ガス排出量の削減の取り組みを実施します。

2番は、「あらゆる人の多様性を尊重する」。我々は、お客様、従業員、パートナー企業の方などの労働環境を整えることに加え、そのすべての多様性を尊重します。

3番は、「コミュニティを支え社会に貢献する」。今まで20年以上、色々な社会貢献活動をしてきましたが、これからもさらに活動を拡大し、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

4番は、「地球規模で価値を循環させる」。
 お客様が服を着終わった後、どのように我々がお客様のお役に立てるかを考えました。「作って、運んで、売る」ことだけでは、企業の責任は果たせていないと考えています。これまでもお客様にご愛用いただいた後の服を回収し、難民・国内避難民へ寄贈するなど、活用してきました。今後は、リサイクルダウンジャケットのように、服から服へ、服から異なる資材への循環をさらに、生み出していきたいと考えています。

LifeWearを「新しい産業」にするための、 具体的な4つの約束。

1. **LifeWear**の商品完成度をさらに上げるために、サプライチェーンのすべてを見直します。
2. **LifeWear**は世界中のあらゆる人の個と多様性を尊重し続けます。
3. 20年以上にわたり私たちが信じてきた「**LifeWear**が持つ社会を良くするチカラ」を、これからより一層活用し、世界規模で社会の安定と持続的発展に寄与していきます。
4. **LifeWear**の価値をさらに上げるために、より長く使って頂ける新サービス・技術を開発し、提供します。

今日は、それを実現するための具体的な4つの約束についてお話ししたいと思います。

1点目は、ファーストリテイリンググループで2017年以降、全社で取り組んでいる有明プロジェクトをさらに深化させた取り組みとなります。有明プロジェクトでは、お客様が求めているものを、必要なタイミングで、必要な分だけ作り、運び、販売するための、働き方改革、サプライチェーン改革を継続していますが、全ての過程で、人権、労働環境、環境に配慮した事業オペレーションの構築を加速します。

2点目、3点目は、我々のビジネスを下支えする重要な活動です。

4点目として、一日でもLifeWearを長く使っていただくための新サービス・技術の開発を進めます。